

《 血管外漏出 》

指標の説明

化学療法を安全に実施するうえで、抗がん剤投与時の血管外漏出は最も避けなくてはならない有害事象です。CT 時の造影剤血管外漏出は、水泡や潰瘍形成、まれにコンパートメント症候群を合併することがあります。また、発生の予防策と本来血管に投与されるべき薬剤がなんらかの理由で血管外に漏出した場合、周囲の皮膚、組織に害を引き起こすことがあるため迅速に対処する必要があります。

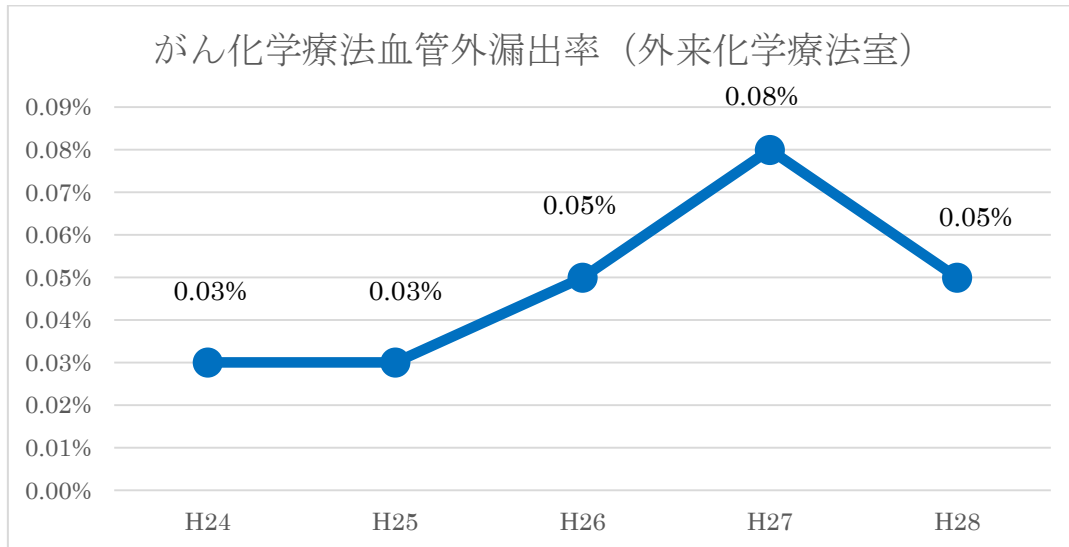
看護師が漏出のリスクアセスメントし、適した固定や患者教育を実践することにより、血管外漏出が発生しないよう取り組んでいます。

1. 抗がん剤血管漏出率(化学療法における抗がん剤血管外漏出発生件数の割合)
2. CT時造影剤血管外漏出率(CT検査時の造影剤血管外漏出発生件数の割合)

●がん化学療法血管外漏出率

指標の定義

1. 抗がん剤血管漏出率＝血管外漏出発生件数／化学療法実施件数×100(%)
2. 造影剤血管外漏出率＝血管外漏出派生件数／CT検査実施件数×100(%)



●造影剤血管外漏出率

指標の定義

1. 造影剤血管外漏出率＝血管外漏出派生件数／CT検査実施件数×100(%)

